

## 書道パフォーマンスグランプリ Q&A

Q：応募時に動画は全ての出場校が提出しなければいけませんか

A：すべての応募校は、動画データの提出を規定の日付までに規定の方法で提出する必要があります

Q：提出する動画については、最初から最後まで同じ場所から撮らなくてはいけませんか

A：極力正面に近い定点から全体が映るようにカメラを設置し、最初から最後まで途中ズームを使わずに、カメラの振りなども行わず、通して撮影を行ってください。カメラを三脚などで固定して撮影することが理想ですが、手持ちでの撮影による多少の手ぶれ等は規定に違反しません

Q：提出用の動画は新たに撮影する必要がありますか

A：開催要項に記載してある要件を満たしている動画であれば、新たに撮影し直す必要はありません。出演者の構成、撮影日、撮影方法などをご確認ください

Q：提出用の動画の内容と大会（予選）の演技内容は同じでなくてはいけませんか

A：同じである必要はありません。また出演者も要件を満たしていれば同じである必要もありません

Q：演技開始時に、揮毫用紙に一切の物品が触れてはいけないとありますが、文鎮やハンドスプレー、型紙なども同様に演技開始前に配置をしてはいけませんか、また揮毫用紙下面に下敷きに類するものなどを配置してはいけませんか。

A：如何なる物も演技開始時に揮毫用紙に接触した場合は、審査対象から除外されます。

Q：演技開始時に選手が揮毫用紙に触れてもいけないとありますが、演技開始時に揮毫用紙の近くに立つこともいけませんか

A：揮毫用紙に触れないで用紙の近くに立つことは問題ありません。ただし、服の裾などが揮毫用紙に接触しても審査対象から除外されますので、揮毫用紙とはある程度の距離をとって配置されることをお勧めします。

Q：揮毫用紙はザラ面が表側（揮毫面）と規定されていますが、ツヤ面を表側（揮毫面）とすることはできないですか

A：当大会ではザラ面を表側（揮毫面）として使っていただくこととしていますので、ツヤ面側への揮毫はできません

Q：演技時間が7分を超えた場合減点とありますが、演技時間の定義を教えてください

A：演技開始時一番最初に言った「お願いします」の言い終わりから、審査員への作品を垂直に掲示を行ったあとで演技終了時の最後の「ありがとうございました」の言い終わりまでが演技時間です。「お願いします」を2回発声する場合は1回目の言い終わりが演技時間の開始で、「ありがとうございました」を2回発声する場合は、2回目の発声の言い終わりが演技終了時間となります

Q：作品を垂直に立てて審査員へ掲示することをせずに終了の発声をした場合は、減点とありますが、どのような場合が減点となりますか

A：下記の4点が上記項目に該当する減点対象となります

- ・審査員へ作品を垂直に掲示する前、つまり判定員の赤色の旗が上がる前に終了の発声をした場合（審査員への掲示の前に終了の発声をしたため）
- ・審査員へ作品を斜めに立てるなどして垂直に掲示せずに、つまり判定員の赤色の旗が上がる前に終了の発声をした場合（審査員への掲示をせずに終了の発声をしたため）
- ・審査員へ作品を垂直に掲示した後、つまり判定員の赤色の旗が上がったが終了の発声をしなかった場合（終了の発声をしなかったため）
- ・審査員へ作品を斜めに立てるなどして垂直に掲示せずに、つまり判定員の赤色の旗が上がらず、終了の発声もしなかった場合（審査員への掲示も終了の発声もしなかったため）

Q：参加料は必要ですか

A：参加料は必要ありません

Q：用紙に掲示用のポールを取り付ける際は、事務局が準備したガムテープを使用することとありますが、どのようなガムテープが用意されているのでしょうか

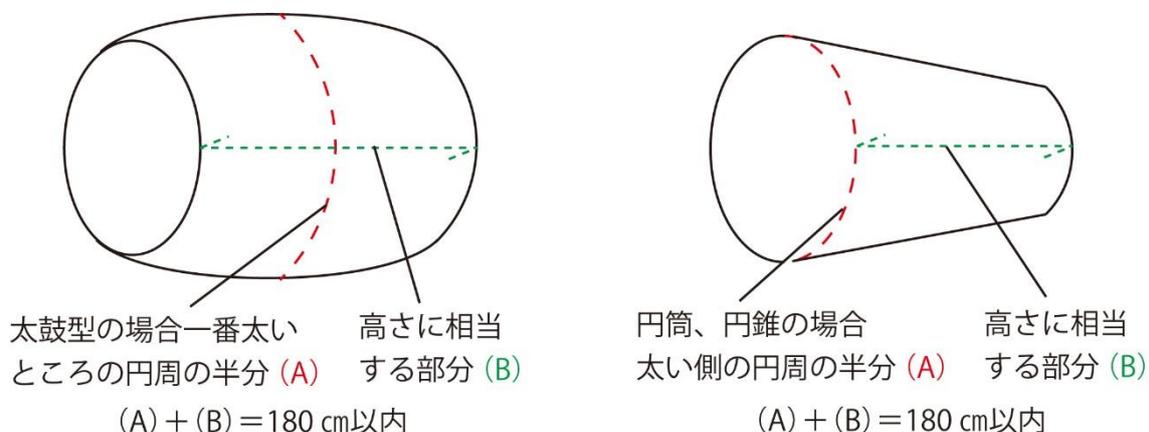
A：白色の布製ガムテープを用意しています

Q：用紙にポールを取付ける際のガムテープは事務局が用意したものをを使用することとありますが、例えば用紙裏面に掲示補助用の袋を取り付ける際などにも、事務局が用意したガムテープを使用する必要がありますか

A：用紙にポールを取付ける場合のみ、事務局が用意したガムテープを使わなくてはいけないと規定されていますので、袋などを取り付ける際は各校様が持ち込んだテープを使用することは可能です

Q：持ち込み道具の大きさについてですが、円柱形、太鼓型のサイズの測り方を教えてください。

A：高さが一番太い円周の半分の合計が 180 cm以下となります。円周の測定位置については、下の図を参考にしてください。



Q：吸い取り紙としてだけ使用するものの大きさについては、その他のものの大きさより大きいものまで持ち込みできますが、吸い取り紙として使う配置の仕方などを演技に組み込んでもダメでしょうか。

A：あくまで吸い取り紙としてだけ使用するものとして例外的に認めているので、演技の中で目隠し的に使いながらの配置、踊りなどの中で持って配置するなどの演出に係る使い方と類する使い方をした場合は吸い取り紙としてのサイズ規定から外れるため、縦横の合計が 180 cm以下の紙などをお使いください。

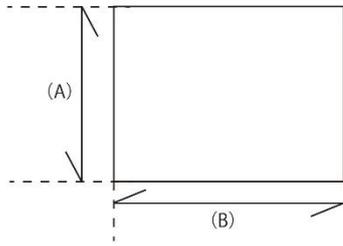
Q：吸い取り紙は持ち込むときの大きさが 2 辺の合計が 2m 以内になっていれば折りたたんだものなどを持ち込むことが可能ですが、その他演技などに使う道具等に関しても同様の考え方で良いでしょうか。

A：吸い取り紙としての用途のみで使用する紙、布などに関しては折りたたんでの規定がありますが、その他のものに関しては「演技開始以降組み合わせるなど」による規定しかないので、折りたたんでも丸めても展開時のサイズが平面のものは 2 辺、もしくは立体のものは 3 辺の合計が 180 cm以下のものしか持ち込みできません。

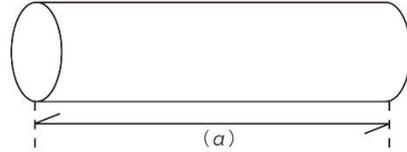
Q：持ち込み道具に関して、サイズの測り方を教えてください。

A：主な持ち込み道具、吸い取り紙としての用途のみで使用する紙、布などに関するサイズの測り方については以下の用例の通り。

吸い取り紙としての用途のみで使用する紙、布などの持ち込み可能サイズ



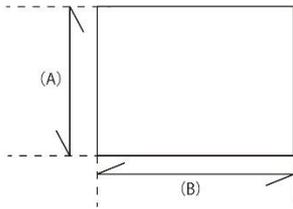
(A) + (B) = 2 m 以下  
 (折りたたんで持ち込む場合は  
 折りたたんだ状態での計測可)



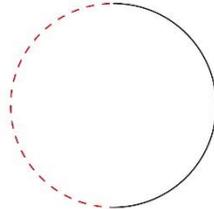
巻いて持ち込む場合 (a) = 4 m 以下  
 (巻きの太さは計測しない)

吸い取り紙としての用途のみで使用するもの以外の持ち込み可能サイズ

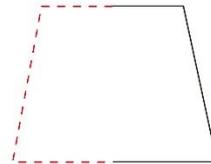
平面のもの (折りたたんでの計測不可 = 展開時のサイズ 厚さ 5 cm までのものは平面物として計測)



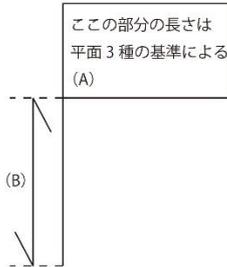
正方形、長方形の  
 布・紙・型紙・板・パネルなど  
 (A) + (B) = 180 cm 以下



円形、楕円形の布・紙・型紙  
 ・板・パネル など  
 円周の 1/2 = 180 cm 以下

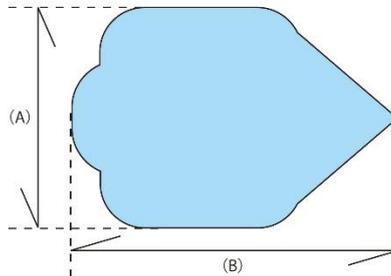


三角形、台形、平行四辺形、扇型などの  
 布・紙・型紙・扇子・板・パネルなど  
 全周囲部の長さの 1/2 = 180 cm 以下



旗、モップなど棒状のものに  
 平面のものが1つだけ付随しているもの

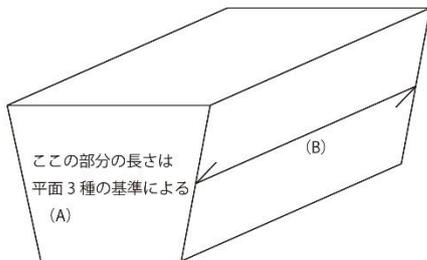
旗等の部分の寸法 (平面3種の基準による) (A)  
 + 取付部以外の棒状のもの長さ (B) = 180 cm 以下



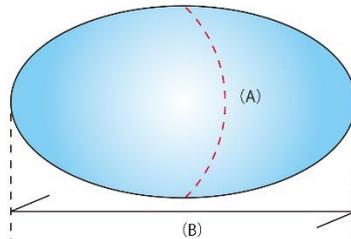
ファンペール、星形、不規則な形など  
 周囲部の計測が難しい平面のもの

最大幅 (A) + 最大長 (B) = 180 cm 以下

立体のもの (折りたたんでの計測不可 = 展開時のサイズ)



立方体のケース、箱状のもの  
 側面の部分の寸法 (平面3種の基準による) (A)  
 + 最大部の長さ (B) = 180 cm 以下

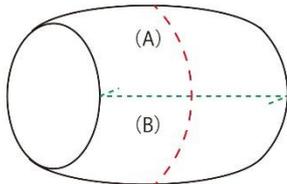


球状、楕円体のもの  
 小さい側の最大円周の半分  
 + 大きい側の頂点から頂点の長さ = 180 cm 以下

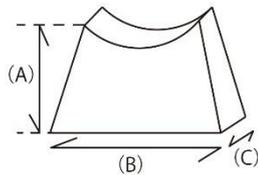
## 組物のサイズの測定方法

### 例：太鼓の場合

それぞれのパーツを別々に持ち込み、  
演技開始以降に組合せ・組み立てる場合  
 =それぞれのパーツのサイズが規定以内



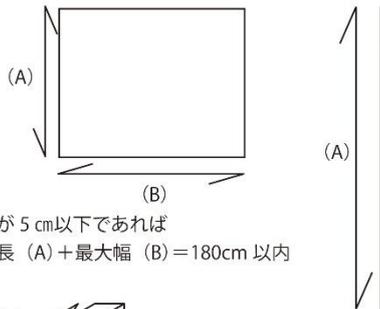
太鼓本体の一番太い箇所の円周の半分 (A)  
 + 高さに対応する部分 (B) = 180 cm 以内



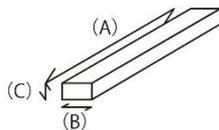
太鼓の足一つの最も高い部分の高さ (A)  
 + もっとも広い部分の幅 (B)  
 + 最も厚い部分の奥行 (C) = 180 cm 以内

### 例：パネルなどの場合

それぞれのパーツを別々に持ち込み、  
演技開始以降に組合せ・組み立てる場合  
 =それぞれのパーツのサイズが規定以内



厚さが 5 cm 以下であれば  
 最大長 (A) + 最大幅 (B) = 180 cm 以内

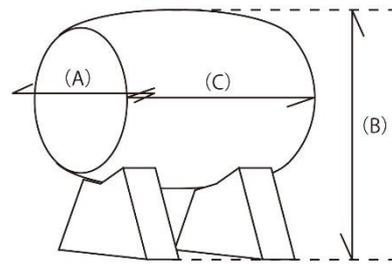


直径 5 cm 以下の棒状の物  
 最大長 (A) = 180 cm 以内

厚さが 5 cm 以上であれば  
 最大長 (A) + 最大幅 (B) + 最大高 (C) = 180 cm 以内  
 厚さが 5 cm 以下であれば  
 最大長 (A) + 最大幅 (B) = 180 cm 以内

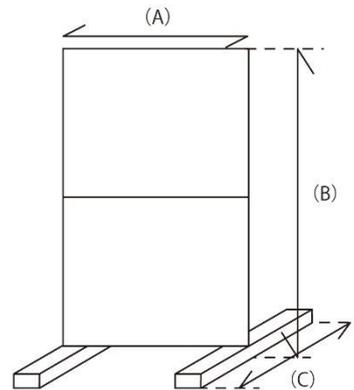
組み立てて持ち込むもしくは  
演技開始前に組合せ・組み立てる場合  
 =組みあがったサイズが規定以内

外周の計測が困難なので下記の方法で計測



組み合わせた状態で最大外形を計測  
 外形の最大幅 (A) + 最大高 (B) + 最大長 (C) = 180 cm 以内

組み立てて持ち込むもしくは  
演技開始前に組合せ・組み立てる場合  
 =組みあがったサイズが規定以内



最大幅 (A) + 最大高 (B) + 最大奥行 (C) = 180 cm 以内